



「健康コラム」

病気と予防のお話し ～JCHO 船橋中央病院から～

第11回 口腔がんについて

歯科口腔外科 小河原 克訓 先生

皆さん初めまして、船橋中央病院歯科口腔外科の小河原克訓です。今回は、この紙面をお借りし、口腔がんについて書かせて頂き、口腔がんの早期発見・治療に繋がればと考えております。口腔がんとは、口の中にできる『がん(癌)』を総称して呼んでいます。できる部位によって『舌癌』『歯肉癌』『口腔底癌』『頬粘膜癌』『硬口蓋癌』に分類され、舌癌が最も多く、次に多いのが歯肉癌になります。最近では芸能人の堀ちえみさんが舌癌を公表し、『私の口内炎は大丈夫?』と不安を感じた方もいたのではないのでしょうか。口腔がんは全てのがんの約4%程度で、遺伝的要因よりお口の環境の影響を受けやすい癌です。原因として喫煙、飲酒、歯列不正、齲蝕歯(うしょくは)、不適合義歯、口腔の不衛生等が挙げられます。主な自覚症状に口の異物感、しこり、しみる感じ、治らない口内炎などがあります。初めは生活上、比較的支障もなく、後回しになりがちですが、病院を受診した際には病状が進行していることが多いのも事実です。

まずは下記項目にてチェック☐がある方はかかりつけ歯科医に相談しましょう。

- : 口内炎が2週間以上治らない。
- : 口の中の傷がなかなか治らない。
- : 粘膜のただれ、赤や白い斑点がある。
- : 口の中に腫れやしこりがある。
- : 口の中に出血しやすいところや痛みがある。
- : 口臭を指摘されるようになった。
- : 原因不明の歯のぐらつきがある。
- : 唇や舌がしびれ、舌や口の動きが悪くなった。
- : 首のリンパ節の腫れがなかなか治らない。

予防として現在、既に口腔癌の原因となりうる歯列不正、齲蝕歯(うしょくは)、不適合義歯、口腔清掃不良等がある方は早めにかかりつけの歯科医院を受診してください。また、がんを寄せ付けない生活習慣(タバコを吸わない、お酒を控える、ストレスをためない、バランスのよい食生活など)も心がけましょう。

ご質問やご相談がある方は当院歯科口腔外科までご連絡頂ければ幸いです。